

解答例

第1問

- (A). それら（微生物）はそれ（繊維）を分解するとき、脳に移動するある化学物質を分泌する
- (B). 今日の人々の食事は非常に異なっている。我々は繊維のすべての種類で、一日当たり10から20グラムだけしか、とっていない。
- (C). 発酵性の繊維をより多くとると、太りすぎの危険性が減少する。しかし、その新しい研究に至るまでは、その繊維が厳密にはどのようにそれを行うかは明らかではなかった。
- (D). そこで、それ（アセテート）は視床下部として知られるある領域に集積した。視床下部は食欲を制御する。ホルモンの分泌により、その脳の領域は空腹感を制御し、飽満一満腹感を促進することを可能にする。
- (E). 体重を調整する最良の方法は、自然由来の食物をとることである。つまり、発酵性繊維を含む食物をより多くとることだ。

第2問.

(1). E

(2). D

(3). A

(4). D

(5). A

第3問.

(A). Mr.Whisenant's family has grown fruits and vegetables, and sold them
to businesses around the world.

(B). He wanted to develop a system that would provide water to the plants from
below.

(C). He found a company in Pennsylvania that agreed to make the box. It would
be made of thick plastic, and would be about one meter long and half a
meter deep.